

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	朝食以外は、出来上がりの配食サービスを利用しており、ご利用者と職員と一緒に調理を楽しんだり、食事をしながら楽しむ場面无い。	「食の楽しみ」をご利用者と職員が共に味わう環境作りを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・昼、夕の食事をご利用者と一緒に作る(週1回程度) ・おやつをご利用者と一緒に作る(月2回程度) 	1ヶ月
2	6	フロア出入り口は、安全上、情事施錠されており、ご利用者が自由に出入り出来る環境ではなく、閉塞感がある。	一時的な施錠の解放。	<ul style="list-style-type: none"> ・フロアに職員が充足している場合は、1階事務所職員と連携して、一時的に出入り口を開放する。 	6ヶ月
3	2	1階デイサービスなど、施設内の交流はあるが、近隣の小中学校や施設など、施設外組織との交流が無い。	地域の資源や情報を活かし、交流を拓げていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の幼稚園・保育所・小中学校との交流 ・近隣グループホームとの交流 ・ご利用者の馴染みの場所への訪問 	3ヶ月
4	5	運営推進会議以外に、事業所の実情の報告や、地域情報の提供をうける場が無い。	あんすこを含めた、市区の担当者への情報提供を積極的に行っていき、良い関係を築いていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・市区役所への定期訪問(月1回程度) ・あんすこの情報連携(月1回程度) 	3ヶ月
5	8	成年後見人制度について、実際に、それを活用し、施設生活を送っているご利用者はいるが、成年後見人制度の啓蒙資料等に基づいて、しっかり学習する機会は設けなかった。	市区から、成年後見人制度の資料等を入手し、職員全体で研修を実施し、今後のご利用者対応に活用していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見人制度に関する資料の入手 ・資料に基づいた研修の実施 	2ヶ月
6	35	消防避難訓練に際し、自治会や近隣住民などの、地域の協力をおお願いしていない。	年2回の訓練のうち1回は、自治会や近隣地域け事前に連絡を行い、参加協力をおお願いする。	<ul style="list-style-type: none"> ・消防避難訓練への参加協力をお願いできるよう、日頃の施設の活動状況や、活動計画を定期的に案内していく。 	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。